

# 資料

自分で守る  
みんなで守る  
防災教育

資料 I : 学習指導要領との関連

(1) 幼稚園教育要領における防災教育に関連する内容

第2章 ねらい及び内容
健康 〔健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活をつくり出す力を養う。〕 2 内容 (10) 危険な場所、危険な遊び方、災害時などの行動の仕方が分かり、安全に気を付けて行動する。
第3章 指導計画及び教育課程に係る教育時間の終了後等に行う教育活動などの留意事項
第1 指導計画の作成に当たっての留意事項 2 特に留意する事項 (1) 安全に関する指導に当たっては、情緒の安定を図り、遊びを通して状況に応じて機敏に自分の体を動かすことができるようにするとともに、危険な場所や事物などが分かり、安全についての理解を深めるようにすること。また、交通安全の習慣を身に付けるようにするとともに、災害などの緊急時に適切な行動がとれるようにするための訓練なども行うようにすること。

(参考：文部科学省「生きる力」をはぐくむ学校での安全教育)

(2) 小学校学習指導要領における防災教育に関連する目標・内容

第2章 各教科

第2節 社会

学年	学習指導要領における目標・内容
3年	<p>1 目標</p> <p>(1) 身近な地域や市区町村の地理的環境、地域の安全を守るための諸活動や地域の産業と消費生活の様子、地域の様子の移り変わりについて、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。</p> <p>(3) 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。</p> <p>2 内容</p> <p>(3) 地域の安全を守る働きについて、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 次のような知識及び技能を身に付けること。</p> <p>(ア) 消防署や警察署などの関係機関は、地域の安全を守るために、相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや、関係機関が地域の人々と協力して火災や事故などの防止に努めていることを理解すること。</p> <p>(イ) 見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、まとめること。</p> <p>イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。</p> <p>(ア) 施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、関係機関や地域の人々の諸活動を捉え、相互の関連や従事する人々の働きを考え、表現すること。</p>
4年	<p>1 目標</p> <p>(1) 自分たちの都道府県の地理的環境の特色、地域の人々の健康と生活環境を支える働きや自然災害から地域の安全を守るための諸活動、地域の伝統と文化や地域の発展に尽くした先人の働きなどについて、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。</p> <p>(3) 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。</p> <p>2 内容</p> <p>(3) 自然災害から人々を守る活動について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 次のような知識及び技能を身に付けること。</p> <p>(ア) 地域の関係機関や人々は、自然災害に対し、様々な協力をして対処してきたことや、今後想定される災害に対し、様々な備えをしていることを理解すること。</p>

	<p>(イ) 聞き取り調査をしたり地図や年表などの資料で調べたりして、まとめること。  イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。  (ア) 過去に発生した地域の自然災害、関係機関の協力などに着目して、災害から人々を守る活動を捉え、その働きを考え、表現すること。</p>
5年	<p>1 目標  (1) 我が国の国土の地理的環境の特色や産業の現状、社会の情報化と産業の関わりについて、国民生活との関連を踏まえて理解するとともに、地図帳や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。  (2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。  (3) 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、我が国の国土に対する愛情、我が国の産業の発展を願い我が国の将来を担う国民としての自覚を養う。</p> <p>2 内容  (5) 我が国の国土の自然環境と国民生活との関連について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。  ア 次のような知識及び技能を身に付けること。  (ア) 自然災害は国土の自然条件などと関連して発生していることや、自然災害から国土を保全し国民生活を守るために国や県などが様々な対策や事業を進めていることを理解すること。  (イ) 森林は、その育成や保護に従事している人々の様々な工夫と努力により国土の保全など重要な役割を果たしていることを理解すること。  (ウ) 関係機関や地域の人々の様々な努力により公害の防止や生活環境の改善が図られてきたことを理解するとともに、公害から国土の環境や国民の健康な生活を守ることの大切さを理解すること。  (エ) 地図帳や各種の資料で調べ、まとめること。  イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。  (ア) 災害の種類や発生の位置や時期、防災対策などに着目して、国土の自然災害の状況を捉え、自然条件との関連を考え、表現すること。</p>
6年	<p>1 目標  (1) 我が国の政治の考え方と仕組みや働き、国家及び社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産、我が国と関係の深い国の生活やグローバル化する国際社会における我が国の役割について理解するとともに、地図帳や地球儀、統計や年表などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。  (2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。  (3) 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、我が国の歴史や伝統を大切に国を愛する心情、我が国の将来を担う国民としての自覚や平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きることの大切さについての自覚を養う。</p> <p>2 内容  (1) 我が国の政治の働きについて、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。  ア 次のような知識及び技能を身に付けること。  (イ) 国や地方公共団体の政治は、国民主権の考え方の下、国民生活の安定と向上を図る大切な働きをしていることを理解すること。</p> <p>3 内容の取扱い  (1) 内容の(1)については、次のとおり取り扱うものとする。  ウ アの(イ)の「国や地方公共団体の政治」については、社会保障、自然災害からの復旧や復興、地域の開発や活性化などの取組の中から選択して取り上げること。</p>

#### 第4節 理科

学年	学習指導要領における目標・内容
4年	<p>1 目標  (2) 生命・地球  ① 身の回りの生物、太陽と地面の様子についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。  ② 身の回りの生物、太陽と地面の様子について追究する中で、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力を養う。  ③ 身の回りの生物、太陽と地面の様子について追究する中で、生物を愛護する態度や主体的に問題解決しようとする態度を養う。</p>

	<p>2 内容</p> <p>B 生命・地球</p> <p>(3) 雨水の行方と地面の様子</p> <p>雨水の行方と地面の様子について、流れ方やしみ込み方に着目して、それらと地面の傾きや土の粒の大きさとを関係付けて調べる活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 次のことを理解するとともに、観察、実験などに関する技能を身に付けること。</p> <p>(ア) 水は、高い場所から低い場所へと流れて集まること。</p> <p>イ 雨水の行方と地面の様子について追究する中で、既習の内容や生活経験を基に、雨水の流れ方やしみ込み方と地面の傾きや土の粒の大きさととの関係について、根拠のある予想や仮説を発想し、表現すること。</p>
5年	<p>1 目標</p> <p>(2) 生命・地球</p> <p>① 生命の連続性、流れる水の働き、気象現象の規則性についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>② 生命の連続性、流れる水の働き、気象現象の規則性について追究する中で、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力を養う。</p> <p>③ 生命の連続性、流れる水の働き、気象現象の規則性について追究する中で、生命を尊重する態度や主体的に問題解決しようとする態度を養う。</p>
	<p>2 内容</p> <p>B 生命・地球</p> <p>(3) 流れる水の働きと土地の変化</p> <p>流れる水の働きと土地の変化について、水の速さや量に着目して、それらの条件を制御しながら調べる活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 次のことを理解するとともに、観察、実験などに関する技能を身に付けること。</p> <p>(ウ) 雨の降り方によって、流れる水の速さや量は変わり、増水により土地の様子が大きく変化する場合があること。</p> <p>イ 流れる水の働きについて追究する中で、流れる水の働きと土地の変化との関係についての予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現すること。</p> <p>(4) 天気の変化</p> <p>天気の変化の仕方について、雲の様子を観測したり、映像などの気象情報を活用したりする中で、雲の量や動きに着目して、それらと天気の変化とを関係付けて調べる活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 次のことを理解するとともに、観察、実験などに関する技能を身に付けること。</p> <p>(イ) 天気の変化は、映像などの気象情報を用いて予想できること。</p> <p>イ 天気の変化の仕方について追究する中で、天気の変化の仕方と雲の量や動きとの関係についての予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現すること。</p>
6年	<p>1 目標</p> <p>(2) 生命・地球</p> <p>① 生物の体のつくりと働き、生物と環境との関わり、土地のつくりと変化、月の形の見え方と太陽との位置関係についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>② 生物の体のつくりと働き、生物と環境との関わり、土地のつくりと変化、月の形の見え方と太陽との位置関係について追究する中で、主にそれらの働きや関わり、変化及び関係について、より妥当な考えをつくりだす力を養う。</p> <p>③ 生物の体のつくりと働き、生物と環境との関わり、土地のつくりと変化、月の形の見え方と太陽との位置関係について追究する中で、生命を尊重する態度や主体的に問題解決しようとする態度を養う。</p>
	<p>2 内容</p> <p>B 生命・地球</p> <p>(4) 土地のつくりと変化</p> <p>土地のつくりと変化について、土地やその中に含まれる物に着目して、土地のつくりやでき方を多面的に調べる活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 次のことを理解するとともに、観察、実験などに関する技能を身に付けること。</p> <p>(ウ) 土地は、火山の噴火や地震によって変化する。</p> <p>イ 土地のつくりと変化について追究する中で、土地のつくりやでき方について、より妥当な考えをつくりだし、表現すること。</p>

第5節 生活

学年	学習指導要領における目標・内容
	<p>1 目標</p> <p>(1) 学校、家庭及び地域の生活に関わることを通して、自分と身近な人々、社会及び自然との関わりについて考えることができ、それらのよさやすばらしさ、自分との関わりに気づき、地域に愛着をもち自然を大切にしたり、集団や社会の一員として安全で適切な行動をしたりするようにする。</p>



1年 2年	<p>(2) 身近な人々、社会及び自然と触れ合ったり関わったりすることを通して、それらを工夫したり楽しんでいざうることができ、活動のよさや大切に気づき、自分たちの遊びや生活をよりよくなるようにする。</p> <p>(3) 自分自身を見つめることを通して、自分の生活や成長、身近な人々の支えについて考えることができ、自分のよさや可能性に気づき、意欲と自信をもって生活するようにする。</p>
	<p>2 内容</p> <p>〔学校、家庭及び地域の生活に関する内容〕</p> <p>(1) 学校生活に関わる活動を通して、学校の施設の様子や学校生活を支えている人々や友達、通学路の様子やその安全を守っている人々などについて考えることができ、学校での生活は様々な人や施設と関わっていることが分かり、楽しく安心して遊びや生活をしたり、安全な登下校をしたりしようとする。</p> <p>(3) 地域に関わる活動を通して、地域の場所やそこで生活したり働いたりしている人々について考えることができ、自分たちの生活は様々な人や場所と関わっていることが分かり、それらに親しみや愛着をもち、適切に接したり安全に生活したりしようとする。</p> <p>〔身近な人々、社会及び自然と関わる活動に関する内容〕</p> <p>(4) 公共物や公共施設を利用する活動を通して、それらのよさを感じたり働きを捉えたりすることができ、身の回りにはみんなで使うものがあることやそれらを支えている人々がいることなどが分かることともに、それらを大切に、安全に気を付けて正しく利用しようとする。</p>

第9節 体育

学年	学習指導要領における目標・内容
3年 4年	<p>1 目標</p> <p>(1) 各種の運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方及び健康で安全な生活や体の発育・発達について理解するとともに、基本的な動きや技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 自己の運動や身近な生活における健康の課題を見付け、その解決のための方法や活動を工夫するとともに、考えたことを他者に伝える力を養う。</p> <p>(3) 各種の運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、友達の考えを認めたり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで努力して運動をする態度を養う。また、健康の大切さに気づき、自己の健康の保持増進に進んで取り組む態度を養う。</p> <p>2 内容</p> <p>B 生命・地球</p> <p>(3) 雨水の行方と地面の様子</p> <p>雨水の行方と地面の様子について、流れ方やしみ込み方に着目して、それらと地面の傾きや土の粒の大きさとの関係付けて調べる活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 次のことを理解するとともに、観察、実験などに関する技能を身に付けること。</p> <p>(ア) 水は、高い場所から低い場所へと流れて集まること。</p> <p>イ 雨水の行方と地面の様子について追究する中で、既習の内容や生活経験を基に、雨水の流れ方やしみ込み方と地面の傾きや土の粒の大きさとの関係について、根拠のある予想や仮説を発想し、表現すること。</p>
5年 6年	<p>1 目標</p> <p>(1) 各種の運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方及び心の健康やけがの防止、病気の予防について理解するとともに、各種の運動の特性に応じた基本的な技能及び健康で安全な生活を営むための技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 自己やグループの運動の課題や身近な健康に関わる課題を見付け、その解決のための方法や活動を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。</p> <p>(3) 各種の運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に留意したりし、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。また、健康・安全の大切さに気づき、自己の健康の保持増進や回復に進んで取り組む態度を養う。</p> <p>2 内容</p> <p>D 水泳運動</p> <p>水泳運動について、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>(1) 次の運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、その技能を身に付けること。</p> <p>ウ 安全確保につながる運動では、背浮きや浮き沈みをしながら続けて長く浮くこと。</p> <p>G 保健</p> <p>(1) 心の健康について、課題を見付け、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 心の発達及び不安や悩みへの対処について理解するとともに、簡単な対処をすること。</p> <p>(ア) 心は、いろいろな生活経験を通して、年齢に伴って発達すること。</p> <p>(イ) 心と体には、密接な関係があること。</p> <p>(ウ) 不安や悩みへの対処には、大人や友達に相談する、仲間と遊ぶ、運動をするなどいろいろな方法があること。</p>

	<p>イ 心の健康について、課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現すること。</p> <p>(2) けがの防止について、課題を見付け、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア けがの防止に関する次の事項を理解するとともに、けがなどの簡単な手当をすること。</p> <p>(ア) 交通事故や身の回りの生活の危険が原因となって起こるけがの防止には、周囲の危険に気付くこと、的確な判断の下に安全に行動すること、環境を安全に整えることが必要であること。</p> <p>(イ) けがなどの簡単な手当は、速やかに行う必要があること。</p> <p>イ けがを防止するために、危険の予測や回避の方法を考え、それらを表現すること。</p>
--	---

### 第3節 特別の教科 道徳

学年	学習指導要領における目標・内容
全	<p>第1 目標</p> <p>第1章総則の第1の2の(2)に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。</p>
1年 2年	<p>第2 内容</p> <p>A 主として自分自身に関すること。</p> <p>[節度、節制] 健康や安全に気を付け、物や金銭を大切に、身の回りを整え、わがままをしないで、規則正しい生活をする。</p> <p>B 主として人との関わりに関すること。</p> <p>[親切、思いやり] 身近にいる人に温かい心で接し、親切にすること。</p> <p>[感謝] 家族など日頃世話になっている人々に感謝すること。</p> <p>[友情、信頼] 友達と仲よくし、助け合うこと。</p> <p>C 主として集団や社会との関わりに関すること。</p> <p>[規則の尊重] 約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にすること。</p> <p>[勤労、公共の精神] 働くことのよさを知り、みんなのために働くこと。</p> <p>[よりよい学校生活、集団生活の充実] 先生を敬愛し、学校の人々に親しんで、学級や学校の生活を楽しくすること。</p> <p>[伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度] 我が国や郷土の文化と生活に親しみ、愛着をもつこと。</p> <p>D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること。</p> <p>[生命の尊さ] 生きることのすばらしさを知り、生命を大切にすること。</p>
3年 4年	<p>A 主として自分自身に関すること。</p> <p>[節度、節制] 自分でできることは自分でやり、安全に気を付け、よく考えて行動し、節度のある生活をする。</p> <p>[希望と勇気、努力と強い意志] 自分でやろうと決めた目標に向かって、強い意志を持ち、粘り強くやり抜くこと。</p> <p>B 主として人との関わりに関すること。</p> <p>[親切、思いやり] 相手のことを思いやり、進んで親切にすること。</p> <p>[感謝] 家族など生活を支えている人々や現在の生活を築いてくれた高齢者に、尊敬と感謝の気持ちをもって接すること。</p> <p>[友情、信頼] 友達と互いに理解し、信頼し、助け合うこと。</p> <p>C 主として集団や社会との関わりに関すること。</p> <p>[規則の尊重] 約束や社会のきまりの意義を理解し、それらを守る。</p> <p>[勤労、公共の精神] 働くことの大切さを知り、進んでみんなのために働くこと。</p> <p>[伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度] 我が国や郷土の伝統と文化を大切に、国や郷土を愛する心をもつこと。</p> <p>D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること。</p>

	<p>[生命の尊さ] 生命の尊さを知り、生命あるものを大切にすること。</p>
5年 6年	<p>A 主として自分自身に関すること。 [節度、節制] 安全に気を付けることや、生活習慣の大切さについて理解し、自分の生活を見直し、節度を守り節制に心掛けること。 [希望と勇気、努力と強い意志] より高い目標を立て、希望と勇気を持ち、困難があってもくじけずに努力して物事をやり抜くこと。</p> <p>B 主として人との関わりに関すること。 [親切、思いやり] だれに対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にすること。 [感謝] 日々の生活が家族や過去からの多くの人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝し、それに応えること。 [友情、信頼] 友達と互いに信頼し、学び合って友情を深め、異性についても理解しながら、人間関係を築いていくこと。</p> <p>C 主として集団や社会との関わりに関すること。 [勤労、公共の精神] 働くことや社会に奉仕することの充実感を味わうとともに、その意義を理解し、公共のために役に立つことをすること。 [家族愛、家庭生活の充実] 父母、祖父母を敬愛し、家族の幸せを求めて、進んで役に立つことをすること。 [よりよい学校生活、集団生活の充実] 先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合ってよりよい学級や学校をつくるとともに、様々な集団の中での自分の役割を自覚して集団生活の充実に努めること。 [伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度] 我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、先人の努力を知り、国や郷土を愛する心をもつこと。 [国際理解、国際親善] 他国の人々や文化について理解し、日本人としての自覚をもって国際親善に努めること。</p> <p>D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること。 [生命の尊さ] 生命が多くの生命のつながりの中にあるかけがえのないものであることを理解し生命を尊重すること。</p>

## 第5章 総合的な学習の時間

学年	学習指導要領における目標・内容
3年 ～ 6年	<p>第1 目標 探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。 (2) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 (3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。</p> <p>第2 各学校において定める目標及び内容 1 目標 各学校においては、第1の目標を踏まえ、各学校の総合的な学習の時間の目標を定める。 2 内容 各学校においては、第1の目標を踏まえ、各学校の総合的な学習の時間の内容を定める。</p>

## 第6章 特別活動

学年	学習指導要領における目標・内容
全	<p>第1 目標 集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。 (1) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。 (2) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。</p>

	(3) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。
1年～6年	<p>〔学級活動〕</p> <p>1 目標 学級や学校での生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成し、役割を分担して協力して実践したり、学級での話し合いを生かして自己の課題の解決及び将来の生き方を描くために意思決定して実践したりすることに、自主的、実践的に取り組むことを通して、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。</p> <p>2 内容 (1) 学級や学校における生活づくりへの参画 ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決 学級や学校における生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図り、実践すること。 イ 学級内の組織づくりや役割の自覚 学級生活の充実や向上のため、児童が主体的に組織をつくり、役割を自覚しながら仕事を分担して、協力し合い実践すること。 ウ 学校における多様な集団の生活の向上 児童会など学級の枠を超えた多様な集団における活動や学校行事を通して学校生活の向上を図るため、学級としての提案や取組を話し合って決めること。 (2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成 現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動すること。</p>
1年～6年	<p>〔児童会活動〕</p> <p>1 目標 異年齢の児童同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営することに自主的、実践的に取り組むことを通して、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。</p> <p>2 内容 (1) 児童会の組織づくりと児童会活動の計画や運営 児童が主体的に組織をつくり、役割を分担し、計画を立て、学校生活の課題を見だし解決するために話し合い、合意形成を図り実践すること。</p>
1年～6年	<p>〔学校行事〕</p> <p>1 目標 全校又は学年の児童で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養いながら、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。</p> <p>2 内容 (1) 儀式的行事 学校生活に有意義な変化や折り目を付け、厳粛で清新な気分を味わい、新しい生活の展開への動機付けとなるようにすること。 (3) 健康安全・体育的行事 心身の健全な発達や健康の保持増進、事件や事故、災害等から身を守る安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上などに資するようにすること。 (4) 遠足・集団宿泊的行事 自然の中での集団宿泊活動などの平素と異なる生活環境にあつて、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、よりよい人間関係を築くなどの集団生活の在り方や公衆道徳などについての体験を積むことができるようにすること。 (5) 勤労生産・奉仕的行事 勤労の尊さや生産の喜びを体得するとともに、ボランティア活動などの社会奉仕の精神を養う体験が得られるようにすること。</p>

### (3) 中学校学習指導要領における防災教育に関連する目標・内容

#### 第2章 各教科

#### 第2節 社会

学習指導要領における目標・内容	
〔地理的分野〕	
1 目標	



社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事象や地域的特色を理解するとともに、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 日本や世界の地域に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深める。

## 2 内容

### C 日本の様々な地域

#### (1) 地域調査の手法

場所などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 観察や野外調査、文献調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方の基礎を理解すること。

(イ) 地形図や主題図の読図、目的や用途に適した地図の作成などの地理的な技能を身に付けること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 地域調査において、対象となる場所の特徴などに着目して、適切な主題や調査、まとめとなるように、調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し、表現すること。

#### (2) 日本の地域的特色と地域区分

次の①から④までの項目を取り上げ、分布や地域などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、以下のア及びイの事項を身に付けることができるよう指導する。

① 自然環境 ② 人口 ③ 資源・エネルギーと産業 ④ 交通・通信

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 日本の地形や気候の特色、海洋に囲まれた日本の国土の特色、自然災害と防災への取組などを基に、日本の自然環境に関する特色を理解すること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) ①から④までの項目について、それぞれの地域区分を、地域の共通点や差異、分布などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現すること。

(イ) 日本の地域的特色を、①から④までの項目に基づく地域区分などに着目して、それらを関連付けて多面的・多角的に考察し、表現すること。

#### (3) 日本の諸地域

次の①から⑤までの考察の仕方を基にして、空間的相互依存作用や地域などに着目して、主題を設けて課題を追究したり解決したりする活動を通して、以下のア及びイの事項を身に付けることができるよう指導する。

① 自然環境を中核とした考察の仕方

⑤ その他の事象を中核とした考察の仕方

ア 次のような知識を身に付けること。

(ア) 幾つかに区分した日本のそれぞれの地域について、その地域的特色や地域の課題を理解すること。

(イ) ①から⑤までの考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解すること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 日本の諸地域において、それぞれ①から⑤までで扱う中核となる事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現すること。

#### (4) 地域の在り方

空間的相互依存作用や地域などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識を身に付けること。

(ア) 地域の実態や課題解決のための取組を理解すること。

(イ) 地域的な課題の解決に向けて考察、構想したことを適切に説明、議論しまとめる手法について理解すること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 地域の在り方を、地域の結び付きや地域の変容、持続可能性などに着目し、そこで見られる地理的な課題について多面的・多角的に考察、構想し、表現すること。

## 〔公民的分野〕

### 1 目標

現代社会の見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務との関係を広い視野から正しく認識し、民主主義、民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり、現代の社会生活及び国際関係などについて、個

<p>人と社会との関わりを中心に理解を深めるとともに、諸資料から現代の社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を現代の社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり、現代社会に見られる課題について公正に判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 現代の社会的事象について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。</p>
<p>2 内容</p> <p>A 私たちと現代社会</p> <p>(1) 私たちが生きる現代社会と文化の特色 位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 次のような知識を身に付けること。</p> <p>(ア) 現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などが見られることについて理解すること。 ※「情報化」については、人工知能の急速な進化などによる産業や社会の構造的な変化などと関連付けたり、災害時における防災情報の発信・活用などの具体的事例を取り上げたりすること。</p> <p>B 私たちと経済</p> <p>(2) 国民の生活と政府の役割 対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 次のような知識を身に付けること。</p> <p>(ア) 社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、消費者の保護について、それらの意義を理解すること。</p> <p>イ 国民の生活と福祉の向上を図ることに向けて、次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。</p> <p>(ア) 市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現すること。</p> <p>D 私たちと国際社会の諸課題</p> <p>(1) 世界平和と人類の福祉の増大 対立と合意、効率と公正、協調、持続可能性などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。</p> <p>(ア) 日本国憲法の平和主義を基に、我が国の安全と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現すること。</p>

第4節 理科

学習指導要領における目標・内容	
<p>〔第2分野〕</p> <p>1 目標 生命や地球に関する事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 生命や地球に関する事物・現象についての観察、実験などを行い、生物の体のつくりと働き、生命の連続性、大地の成り立ちと変化、気象とその変化、地球と宇宙などについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 生命や地球に関する事物・現象に関わり、それらの中に問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し表現するなど、科学的に探究する活動を通して、多様性に気付くとともに規則性を見いだしたり課題を解決したりする力を養う。</p> <p>(3) 生命や地球に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見るができるようにする。</p>	
<p>2 内容</p> <p>(2) 大地の成り立ちと変化</p> <p>ア 大地の成り立ちと変化を地表に見られる様々な事物・現象と関連付けながら、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。</p> <p>(ア) 身近な地形や地層、岩石の観察</p> <p>⑦ 身近な地形や地層、岩石の観察 身近な地形や地層、岩石などの観察を通して、土地の成り立ちや広がり、構成物などについて理解するとともに、観察器具の操作、記録の仕方などの技能を身に付けること。</p> <p>(イ) 地層の重なりと過去の様子</p> <p>⑦ 地層の重なりと過去の様子 地層の様子やその構成物などから地層のでき方を考察し、重なり方や広がり方についての規則性を見いだして理解するとともに、地層とその中の化石を手掛かりとして過去の環境と地質年代を推定できることを理解すること。</p>	

(ウ) 火山と地震

㊦ 火山活動と火成岩

火山の形、活動の様子及びその噴出物を調べ、それらを地下のマグマの性質と関連付けて理解するとともに、火山岩と深成岩の観察を行い、それらの組織の違いを成因と関連付けて理解すること。

㊧ 地震の伝わり方と地球内部の働き

地震の体験や記録を基に、その揺れの大きさや伝わり方の規則性に気付くとともに、地震の原因を地球内部の働きと関連付けて理解し、地震に伴う土地の変化の様子を理解すること。

(I) 自然の恵みと火山災害・地震災害

㊦ 自然の恵みと火山災害・地震災害

自然がもたらす恵み及び火山災害と地震災害について調べ、これらを火山活動や地震発生の仕組みと関連付けて理解すること。

イ 大地の成り立ちと変化について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、地層の重なり方や広がり方の規則性、地下のマグマの性質と火山の形との関係性などを見いだして表現すること。

(4) 気象とその変化

ア 気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。

(ア) 気象観測

㊦ 気象要素

気象要素として、気温、湿度、気圧、風向などを理解すること。また、気圧を取り上げ、圧力についての実験を行い、圧力は力の大きさと面積に関係があることを見いだして理解するとともに、大気圧の実験を行い、その結果を空気の重さと関連付けて理解すること。

㊧ 気象観測

校庭などで気象観測を継続的に行い、その観測記録などに基づいて、気温、湿度、気圧、風向などの変化と天気との関係を見いだして理解するとともに、観測方法や記録の仕方を身に付けること。

(イ) 天気の変化

㊦ 霧や雲の発生

霧や雲の発生についての観察、実験を行い、そのでき方を気圧、気温及び湿度の変化と関連付けて理解すること。

㊧ 前線の通過と天気の変化

前線の通過に伴う天気の変化の観測結果などに基づいて、その変化を暖気、寒気と関連付けて理解すること。

(ウ) 日本の気象

㊦ 日本の天気の特徴

天気図や気象衛星画像などから、日本の天気の特徴を気団と関連付けて理解すること。

㊧ 大気の動きと海洋の影響

気象衛星画像や調査記録などから、日本の気象を日本付近の大気の動きや海洋の影響と関連付けて理解すること。

(I) 自然の恵みと気象災害

㊦ 自然の恵みと気象災害

気象現象がもたらす恵みと気象災害について調べ、これらを天気の変化や日本の気象と関連付けて理解すること。

イ 気象とその変化について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、天気の変化や日本の気象についての規則性や関係性を見いだして表現すること。

(7) 自然と人間

自然環境を調べる観察、実験などを通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 日常生活や社会と関連付けながら、次のことを理解するとともに、自然環境を調べる観察、実験などに関する技能を身に付けること。

(ア) 生物と環境

㊦ 地域の自然災害

地域の自然災害について、総合的に調べ、自然と人間との関わり方について認識すること。

イ 身近な自然環境や地域の自然災害などを調べる観察、実験などを行い、自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について、科学的に考察して判断すること。

第7節 保健体育

学習指導要領における目標・内容

〔保健分野〕

1 目標

- (1) 個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- (3) 生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

2 内容

- (2) 心身の機能の発達と心の健康について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付

けることができるよう指導する。

ア 心身の機能の発達と心の健康について理解を深めるとともに、ストレスへの対処をすること。

(I) 精神と身体は、相互に影響を与え、関わっていること。欲求やストレスは、心身に影響を与えることがあること。また、心の健康を保つには、欲求やストレスに適切に対処する必要があること。

(3) 傷害の防止について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 傷害の防止について理解を深めるとともに、応急手当をすること。

(ア) 交通事故や自然災害などによる傷害は、人的要因や環境要因などが関わって発生すること。

(イ) 交通事故などによる傷害の多くは、安全な行動、環境の改善によって防止できること。

(ウ) 自然災害による傷害は、災害発生時だけでなく、二次災害によっても生じること。また、自然災害による傷害の多くは、災害に備えておくこと、安全に避難することによって防止できること。

(I) 応急手当を適切に行うことによって、傷害の悪化を防止することができること。また、心肺蘇生法などを行うこと。

## 第8節 技術・家庭

### 学習指導要領における目標・内容

〔技術分野〕

#### 1 目標

技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。
- (2) 生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。
- (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

#### 2 内容

##### A 材料と加工の技術

(1) 生活や社会を支える材料と加工の技術について調べる活動などを通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 材料や加工の特性等の原理・法則と、材料の製造・加工方法等の基礎的な技術の仕組みについて理解すること。

イ 技術に込められた問題解決の工夫について考えること。

〔家庭分野〕

#### 1 目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。
- (3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

#### 2 内容

##### B 衣食住の生活

次の(1)から(7)までの項目について、課題をもって、健康・快適・安全で豊かな食生活、衣生活、住生活に向けて考え、工夫する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(6) 住居の機能と安全な住まい方

ア 次のような知識を身に付けること。

(イ) 家庭内の事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解すること。

イ 家族の安全を考えた住空間の整え方について考え、工夫すること。

## 第3章 特別の教科 道徳

### 学習指導要領における目標・内容

#### 第1 目標

第1章総則の第1の2の(2)に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

#### 第2 内容

A 主として自分自身に関すること。

〔自主、自律、自由と責任〕



自律の精神を重んじ、自主的に考え、判断し、誠実に実行してその結果に責任をもつこと。

[節度、節制]

望ましい生活習慣を身に付け、心身の健康の増進を図り、節度を守り節制に心掛け、安全で調和のある生活をすること。

[向上心、個性の伸長]

自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求すること。

[希望と勇気、克己と強い意志]

より高い目標を設定し、その達成を目指し、希望と勇気を持ち、困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げること。

[真理の探究、創造]

真実を大切にし、真理を探究して新しいものを生み出そうと努めること。

B 主として他の人との関わりに関すること。

[思いやり、感謝]

思いやりの心をもって人と接するとともに、家族などの支えや多くの人々の善意により日々の生活や現在の自分があることに感謝し、進んでそれに応え、人間愛の精神を深めこと。

[礼儀]

礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動をとること。

[友情、信頼]

友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合うとともに、異性についての理解を深め、悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めていくこと。

[相互理解、寛容]

自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもって謙虚に他に学び、自らを高めていくこと。

C 主として集団や社会との関わりに関すること。

[遵法精神、公德心]

法やきまりの意義を理解し、それらを進んで守るとともに、そのよりよい在り方について考え、自他の権利を大切にし、義務を果たして、規律ある安定した社会の実現に努めること。

[社会参画、公共の精神]

社会参画の意識と社会連帯の自覚を高め、公共の精神をもってよりよい社会の実現に努めること。

[勤労]

勤労の尊さや意義を理解し、将来の生き方について考えを深め、勤労を通じて社会に貢献すること。

[家族愛、家庭生活の充実]

父母、祖父母を敬愛し、家族の一員としての自覚をもって充実した家庭生活を築くこと。

[よりよい学校生活、集団生活の充実]

教師や学校の人々を敬愛し、学級や学校の一員としての自覚をもち、協力し合ってよりよい校風をつくることと、様々な集団の意義や集団の中での自分の役割と責任を自覚して集団生活の充実に努めること。

D 主として自然や崇高なものとの関わりに関すること。

[生命の尊さ]

生命の尊さについて、その連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえない生命を尊重すること。

[自然愛護]

自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることの意義を理解し、進んで自然の愛護に努めること。

[感動、畏敬の念]

美しいものや気高いものに感動する心を持ち、人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深めること。

[よりよく生きる喜び]

人間には自らの弱さや醜さを克服する強さや気高く生きようとする心があることを理解し、人間として生きることの喜びを見いだすこと。

## 第4章 総合的な学習の時間

### 学習指導要領における目標・内容

#### 第1 目標

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようになる。

(2) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようになる。

(3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

#### 第2 各学校において定める目標及び内容

##### 1 目標

各学校においては、第1の目標を踏まえ、各学校の総合的な学習の時間の目標を定める。

##### 2 内容

各学校においては、第1の目標を踏まえ、各学校の総合的な学習の時間の内容を定める。

## 第5章 特別活動

学習指導要領における目標・内容	
第1 目標	<p>集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。</p> <p>(1) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。</p> <p>(3) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。</p>
〔学級活動〕	
1 目標	<p>学級や学校での生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成し、役割を分担して協力して実践したり、学級での話し合いを生かして自己の課題の解決及び将来の生き方を描くために意思決定して実践したりすることに、自主的、実践的に取り組むことを通して、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。</p>
2 内容	<p>1の資質・能力を育成するため、全ての学年において、次の各活動を通して、それぞれの活動の意義及び活動を行う上で必要となることについて理解し、主体的に考えて実践できるよう指導する。</p> <p>(2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全</p> <p>エ 心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成 節度ある生活を送るなど現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動すること。</p> <p>(3) 一人一人のキャリア形成と自己実現</p> <p>イ 社会参画意識の醸成や勤労観・職業観の形成 社会の一員としての自覚や責任をもち、社会生活を営む上で必要なマナーやルール、働くことや社会に貢献することについて考えて行動すること。</p>
〔生徒会活動〕	
1 目標	<p>異年齢の生徒同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営することに自主的、実践的に取り組むことを通して、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。</p>
2 内容	<p>1の資質・能力を育成するため、学校の全生徒をもって組織する生徒会において、次の各活動を通して、それぞれの活動の意義及び活動を行う上で必要となることについて理解し、主体的に考えて実践できるよう指導する。</p> <p>(1) 生徒会の組織づくりと生徒会活動の計画や運営 生徒が主体的に組織をつくり、役割を分担し、計画を立て、学校生活の課題を見だし解決するために話し合い、合意形成を図り実践すること。</p> <p>(2) 学校行事への協力 学校行事の特質に応じて、生徒会の組織を活用して、計画の一部を担当したり、運営に主体的に協力したりすること。</p> <p>(3) ボランティア活動などの社会参画 地域や社会の課題を見だし、具体的な対策を考え、実践し、地域や社会に参画できるようにすること。</p>
〔学校行事〕	
1 目標	<p>全校又は学年の生徒で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養いながら、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。</p>
2 内容	<p>1の資質・能力を育成するため、全ての学年において、全校又は学年を単位として、次の各行事において、学校生活に秩序と変化を与え、学校生活の充実と発展に資する体験的な活動を行うことを通して、それぞれの学校行事の意義及び活動を行う上で必要となることについて理解し、主体的に考えて実践できるよう指導する。</p> <p>(1) 儀式的行事 学校生活に有意義な変化や折り目を付け、厳粛で清新な気分を味わい、新しい生活の展開への動機付けとなるようにすること。</p> <p>(2) 文化的行事 平素の学習活動の成果を発表し、自己の向上の意欲を一層高めたり、文化や芸術に親しんだりするようにすること。</p> <p>(3) 健康安全・体育的行事 心身の健全な発達や健康の保持増進、事件や事故、災害等から身を守る安全な行動や規律ある集団行動の体得、</p>

運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上などに資するようにすること。

(4) 旅行・集団宿泊的行事

平素と異なる生活環境にあって、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、よりよい人間関係を築くなどの集団生活の在り方や公衆道徳などについての体験を積むことができるようにすること。

(5) 勤労生産・奉仕的行事

勤労の尊さや生産の喜びを体得し、職場体験活動などの勤労観・職業観に関わる啓発的な体験が得られるようにするとともに、共に助け合って生きることの喜びを体得し、ボランティア活動などの社会奉仕の精神を養う体験が得られるようにすること。

(4) 高等学校学習指導要領における防災教育に関連する目標・内容

第2章 各学科に共通する各教科

第2節 地理歴史

学習指導要領における目標・内容	
第1 地理総合	
1 目標	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (3) 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。
2 内容	
C 持続可能な地域づくりと私たち	
(1) 自然環境と防災	人間と自然環境との相互依存関係や地域などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 我が国をはじめ世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解すること。 (イ) 様々な自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的スキルを身に付けること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現すること。
第2 地理探究	
1 目標	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 地理に関わる諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、系統地理的、地誌的に、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (3) 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを



深める。

## 2 内容

### A 現代世界の系統地理的考察

#### (1) 自然環境

場所や人間と自然環境との相互依存関係などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識を身に付けること。

(ア) 地形、気候、生態系などに関わる諸事象を基に、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、地球環境問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解すること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(イ) 地形、気候、生態系などに関わる諸事象について、場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現すること。

## 第3節 公民

### 学習指導要領における目標・内容

#### 第1 公共

##### 1 目標

人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

(2) 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

(3) よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

##### 2 内容

#### B 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(I) 現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けること。

#### 第3 政治・経済

##### 1 目標

社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

(2) 国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。

(3) よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

##### 2 内容

#### A 現代日本における政治・経済の諸課題

##### (2) 現代日本における政治・経済の諸課題の探究

社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、他者と協働して持続可能な社会の形成が求められる現代日本社会の諸課題を探究する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、地域社会の自立と政府、多様な働き方・生き方を可能にする社会、産業構造の変化と起業、歳入・歳出両面での財政健全化、食料の安定供給の確保と持続可能な農業構造の実現、防災と安全・安心な社会の実現などについて、取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察、構想し、よりよい社会の在り方についての自分の考えを説明、論述すること。



## 第5節 理科

学習指導要領における目標・内容	
第1 科学と人間生活	
1 目標	<p>自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。</p>
2 内容	<p>(2) 人間生活の中の科学</p> <p>身近な自然の事物・現象及び日常生活や社会の中で利用されている科学技術を取り上げ、それらについての観察、実験などを通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 光や熱の科学、物質の科学、生命の科学、宇宙や地球の科学と人間生活との関わりについて認識を深めるとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。</p> <p>(I) 宇宙や地球の科学</p> <p>④ 自然景観と自然災害</p> <p>自然景観と自然災害に関する観察、実験などを行い、身近な自然景観の成り立ちと自然災害について、人間生活と関連付けて理解すること。</p> <p>イ 光や熱の科学、物質の科学、生命の科学、宇宙や地球の科学について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて、科学的に考察し表現すること。</p>
第8 地学基礎	
1 目標	<p>地球や地球を取り巻く環境に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、地球や地球を取り巻く環境を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>
2 内容	<p>(1) 地球のすがた</p> <p>地球のすがたについての観察、実験などを通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 地球のすがたについて、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。</p> <p>(イ) 活動する地球</p> <p>④ 火山活動と地震</p> <p>火山活動や地震に関する資料に基づいて、火山活動と地震の発生の仕組みをプレートの運動と関連付けて理解すること。</p> <p>(ウ) 大気と海洋</p> <p>⑦ 地球の熱収支</p> <p>気圧や気温の鉛直方向の変化などについての資料に基づいて、大気の構造の特徴を見いだして理解するとともに、太陽放射の受熱量と地球放射の放熱量がつり合っていることを理解すること。</p> <p>イ 地球のすがたについて、観察、実験などを通して探究し、惑星としての地球、活動する地球、大気と海洋について、規則性や関係性を見いだして表現すること。</p> <p>(2) 変動する地球</p> <p>変動する地球についての観察、実験などを通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 変動する地球について、宇宙や太陽系の誕生から今日までの一連の時間の中で捉えながら、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。また、自然環境の保全の重要性について認識すること。</p> <p>(イ) 地球の環境</p> <p>④ 日本の自然環境</p> <p>日本の自然環境を理解し、それらがもたらす恩恵や災害など自然環境と人間生活との関わりについて認識すること。</p> <p>イ 変動する地球について、観察、実験などを通して探究し、地球の変遷、地球の環境について、規則性や関係性を見いだして表現すること。</p>
第9 地学	
1 目標	<p>地球や地球を取り巻く環境に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことな</p>

どを通して、地球や地球を取り巻く環境を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 地学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- (3) 地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

## 2 内容

### (2) 地球の活動と歴史

地球の活動と歴史についての観察、実験などを通して、次の事項を身に付けることができよう指導する。

ア 地球の活動と歴史について、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。

#### (ア) 地球の活動

##### ①地震と地殻変動

世界の震源分布についての資料に基づいて、プレート境界における地震活動の特徴をプレート運動と関連付けて理解するとともに、それに伴う地殻変動などについて理解すること。

##### ②火成活動

島弧－海溝系における火成活動の特徴を、マグマの発生と分化及び火成岩の形成と関連付けて理解すること。

#### (イ) 地球の歴史

##### ③地表の変化

風化、侵食、運搬及び堆積の諸作用による地形の形成について、身近な地形と関連付けて理解すること。

イ 地球の活動と歴史について、観察、実験などを通して探究し、地球の活動の特徴と歴史の概要を見いだして表現すること。

### (3) 地球の大気と海洋

地球の大気と海洋についての観察、実験などを通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 地球の大気と海洋について、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。

#### (ア) 大気の構造と運動

##### ①大気の運動と気象

大循環と対流による現象及び日本や世界の気象の特徴を理解すること。

#### (イ) 海洋と海水の運動

##### ①海水の運動

海水の運動と循環及び海洋と大気の相互作用について理解すること。

イ 地球の大気と海洋について、観察、実験などを通して探究し、地球の大気と海洋の構造や運動の規則性や関係性を見いだして表現すること。

## 第6節 保健体育

### 学習指導要領における目標・内容

#### 第2 保健

##### 1 目標

保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。

- (1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。
- (2) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。
- (3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

##### 2 内容

(1) 現代社会と健康について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

イ 現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現すること。

(2) 安全な社会生活について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 安全な社会生活について理解を深めるとともに、応急手当を適切にすること。

#### (ア) 安全な社会づくり

安全な社会づくりには、環境の整備とそれに応じた個人の取組が必要であること。また、交通事故を防止するには、車両の特性の理解、安全な運転や歩行など適切な行動、自他の生命を尊重する態度、交通環境の整備が関わること。交通事故には補償をはじめとした責任が生じること。

#### (イ) 応急手当

適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を軽減できること。応急手当には、正しい手順や方法があること。

また、応急手当は、傷害や疾病によって身体が時間の経過とともに損なわれていく場合があることから、速やかに行う必要があること。心肺蘇生法などの応急手当を適切に行うこと。  
 イ 安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え、それら表現すること。

## 第9節 家庭

### 学習指導要領における目標・内容

#### 第1 家庭基礎

##### 1 目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。

- (1) 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。
- (3) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

##### 2 内容

##### B 衣食住の生活の自立と設計

次の(1)から(3)までの項目について、健康・快適・安全な衣食住の生活を主体的に営むために、実践的・体験的な学習活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

##### (3) 住生活と住環境

ア ライフステージに応じた住生活の特徴、防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について理解し、適切な住居の計画・管理に必要な技能を身に付けること。

イ 住居の機能性や快適性、住居と地域社会との関わりについて考察し、防災などの安全や環境に配慮した住生活や住環境を工夫すること。

##### C 持続可能な消費生活・環境

次の(1)から(3)までの項目について、持続可能な社会を構築するために、実践的・体験的な学習活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

##### (3) 持続可能なライフスタイルと環境

イ 持続可能な社会を目指して主体的に行動できるよう、安全で安心な生活と消費について考察し、ライフスタイルを工夫すること。

#### 第2 家庭総合

##### 1 目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。

- (1) 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。
- (2) 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。
- (3) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

##### 2 内容

##### B 衣食住の生活の科学と文化

次の(1)から(3)までの項目について、健康・快適・安全な衣食住の生活を主体的に営むために、実践的・体験的な学習活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

##### (3) 住生活の科学と文化

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(イ) ライフステージの特徴や課題に着目し、住生活の特徴、防災などの安全や環境に

配慮した住居の機能について科学的に理解し、住生活の計画・管理に必要な技能を身に付けること。

(ウ) 家族の生活やライフスタイルに応じた持続可能な住居の計画について理解し、快適で安全な住空間を計画するために必要な情報を収集・整理できること。

イ 主体的に住生活を営むことができるようライフステージと住環境に応じた住居の計画、防災などの安全や環境に配慮した住生活とまちづくり、日本の住文化の継承・創造について考察し、工夫すること。

##### C 持続可能な消費生活・環境

次の(1)から(3)までの項目について、持続可能な社会を構築するために実践的・体験的な学習活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

##### (3) 持続可能なライフスタイルと環境

イ 持続可能な社会を目指して主体的に行動できるよう、安全で安心な生活と消費及び生活文化について考察し、ライフスタイルを工夫すること。

#### 第4章 総合的な探究の時間

学習指導要領における目標・内容	
第1 目標	<p>探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。</p> <p>(2) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。</p> <p>(3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。</p>
第2 各学校において定める目標及び内容	<p>1 目標</p> <p>各学校においては、第1の目標を踏まえ、各学校の総合的な学習の時間の目標を定める。</p> <p>2 内容</p> <p>各学校においては、第1の目標を踏まえ、各学校の総合的な学習の時間の内容を定める。</p>

#### 第5章 特別活動

学習指導要領における目標・内容	
第1 目標	<p>集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。</p> <p>(1) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。</p> <p>(3) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。</p>
[ホームルーム活動]	<p>1 目標</p> <p>ホームルームや学校での生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成し、役割を分担して協力して実践したり、ホームルームでの話し合いを生かして自己の課題の解決及び将来の生き方を描くために意思決定して実践したりすることに、自主的、実践的に取り組むことを通して、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。</p> <p>2 内容</p> <p>1の資質・能力を育成するため、全ての学年において、次の各活動を通して、それぞれの活動の意義及び活動を行う上で必要となることについて理解し、主体的に考えて実践できるよう指導する。</p> <p>(2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全</p> <p>オ 生命の尊重と心身ともに健康で安全な生活態度や規律ある習慣の確立節度ある健全な生活を送るなど現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動すること。</p> <p>(3) 一人一人のキャリア形成と自己実現</p> <p>ウ 社会参画意識の醸成や勤労観・職業観の形成</p> <p>社会の一員としての自覚や責任をもち、社会生活を営む上で必要なマナーやルール、働くことや社会に貢献することについて考えて行動すること。</p>
[生徒会活動]	<p>1 目標</p> <p>異年齢の生徒同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営することに自主的、実践的に取り組むことを通して、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。</p> <p>2 内容</p> <p>1の資質・能力を育成するため、学校の全生徒をもって組織する生徒会において、次の各活動を通して、それぞれの活動の意義及び活動を行う上で必要となることについて理解し、主体的に考えて実践できるよう指導する。</p> <p>(1) 生徒会の組織づくりと生徒会活動の計画や運営</p> <p>生徒が主体的に組織をつくり、役割を分担し、計画を立て、学校生活の課題を見だし解決するために話し合い、合意形成を図り実践すること。</p>



- (2) 学校行事への協力  
学校行事の特質に応じて、生徒会の組織を活用して、計画の一部を担当したり、運営に主体的に協力したりすること。
- (3) ボランティア活動などの社会参画  
地域や社会の課題を見だし、具体的な対策を考え、実践し、地域や社会に参画できるようにすること。

〔学校行事〕

1 目標

全校若しくは学年又はそれらに準ずる集団で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養いながら、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。

2 内容

1の資質・能力を育成するため、全校若しくは学年又はそれらに準ずる集団を単位として、次の各行事において、学校生活に秩序と変化を与え、学校生活の充実と発展に資する体験的な活動を行うことを通して、それぞれの学校行事の意義及び活動を行う上で必要となることについて理解し、主体的に考えて実践できるよう指導する。

(1) 儀式的行事

学校生活に有意義な変化や折り目を付け、厳粛で清新な気分を味わい、新しい生活の展開への動機付けとなるようにすること。

(2) 文化的行事

平素の学習活動の成果を発表し、自己の向上の意欲を一層高めたり、文化や芸術に親しんだりするようにすること。

(3) 健康安全・体育的行事

心身の健全な発達や健康の保持増進、事件や事故、災害等から身を守る安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上などに資するようにすること。

(4) 旅行・集団宿泊的行事

平素と異なる生活環境にあつて、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、よりよい人間関係を築くなどの集団生活の在り方や公衆道徳などについての体験を積むことができるようにすること。

(5) 勤労生産・奉仕的行事

勤労の尊さや創造することの喜びを体得し、就業体験活動などの勤労観・職業観の形成や進路の選択決定などに資する体験が得られるようにするとともに、共に助け合って生きることの喜びを体得し、ボランティア活動などの社会奉仕の精神を養う体験が得られるようにすること。

(5) 特別支援学校における防災教育に関連する学習内容

特別支援学校においては、小学校、中学校及び高等学校における指導内容を参考にするとともに、児童生徒の障害の状態、発達段階、特性等及び地域の実態等に応じて、次の例を参考にして指導することが考えられる。

ア 小学部

〈各教科等における主な関連内容〉

領域	学習指導要領の内容	取扱いの一例
生活科	健康・安全	<p>(1段階)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>危険な場所について知る。小さな玩具や硬貨などを口に入れない、階段や段差などに注意して歩く。</li> <li>信号や標識に従うことや道路を安全に横断する。教師と一緒に体験し、安全に通行しようとする。</li> <li>教師と一緒に避難し、指示に従って避難する。教師と手を繋いだりして、適切な行動をする。</li> <li>災害や事故、地域の施設設備について知る。教師と一緒に活動し、危険な場所などがあることに気付く。</li> </ul> <p>(2段階)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>安全な遊び方や遊具・器具の使い方を知るなど、身近な生活の安全に関心をもつ。</li> <li>自動車や自転車などに気を付ける。歩行者用の信号や踏切の警報器の意味を知るなど、安全な歩行の仕方が分かり、安全への習慣を身に付ける。</li> <li>「火事」「地震」「避難」などの言葉の意味を理解したり、避難時に友達と一緒に行動しようとしたりする。</li> <li>危険な場所に気付くとともに、身近にある安全な場所を知る。教師や友達と一緒に行動し、安全に生活する意識を高める。</li> </ul>



	我が国の地理や歴史	(1段階) ・(自分が住んでいる市町の)土地の高低や海岸沿いなどの地形、住宅、田畑、森林、港などの様子が分かる。 (2段階) ・(自分が住んでいる都道府県の)土地の高低や海岸沿いなどの地形、住宅、田畑、森林、港などの様子が分かる。
理科	地球・自然	(2段階) ・水は高い場所から低い場所へと流れて集まることや、水のしみ込み方は、土の粒の大きさによって違いがあることなどを理解する。 ・天気によって1日の気温の変化の仕方に違いがあることや、水は、水面や地面などから蒸発し、水蒸気になって空気中に含まれていくことなどを理解する。
保健体育科	保健	(1段階) ・病気の予防のために汗をふいたり、うがいをしたりするなど、生活に必要な習慣や態度を身に付ける。 ・進んで身体及び身の周りの清潔に気を付ける、寒暖に応じて着衣を調整する、体調を考えて適度な運動をする、栄養が偏らないようにバランスのとれた食事をするなどして、健康的な生活を送ることができるようにする。 ・自分の体調の変化を捉え、けがや病気の際には、教師や友達に伝えたりし、消毒液や体温計を適切に使ったり、薬を指示に応じて服用したりできるようになる。 (2段階) ・不安や悩みなどがある時には、人に話したり相談したりすること、遊び・運動・音楽・呼吸法などによって、気持ちを楽にしたり気分を変えたりすることを知る。
職業科 ・ 家庭科	職業生活  情報機器の活用 衣食住の生活	・作業に必要な工具類や農具、工作機械の安全な操作の仕方を理解し、整理整頓をする。 ・情報機器の操作方法に慣れ、活用して情報を集める。 ・3食を規則正しくとり、栄養や食品をバランスよくとることの重要性を理解する。 ・地震や火災など緊急時に身を守ることや避難場所、連絡先について理解する。

## ウ 高等部

### 〈各教科等における主な関連内容〉

領域	学習指導要領の内容	取扱いの一例
社会科	公共施設の役割と制度  我が国の国土の自然環境と国民生活	・公共施設や公共物は、それぞれに様々な機能を有しており、社会生活をより快適に営むのに必要なものであることを知る。 ・我が国では、国土の地形や気候などとの関係から地震災害、津波災害、風水害、火山災害、雪害などの様々な自然災害が起こりやすいこと、自然災害はこれまで度々発生しこれからも発生する可能性があることなどを基に、国土の自然災害の状況について理解する。 ・これまでに我が国においてどのような自然災害が、いつどこで発生したか、自然災害による被害をどのように減らす対策をとっているかなどの問いを設けて調べたり、自然災害と国土の自然条件を関連付けて考えたりして、調べたことや考えたことを表現する。 ・国や県などは、砂防ダムや堤防、防潮堤の建設、津波避難場所の整備、ハザードマップの作成など、自然災害の種類や国土の地形や気候に応じた対策や事業を進めていることなどを基に、国土の自然災害への対策や事業について理解する。
理科	地球・自然	・流れる水には、土地を侵食したり、石や土などを運搬したり堆積させたりする働きがあることを理解する。 ・雨の降り方によって、水の速さや量が増し、地面を大きく侵食したり、石や土を多量に運搬したり堆積させたりして、土地の様子が大きく変化する場面があることなどを理解する。 ・天気の変化は、雲の量や動きと関係があること、また、雲には様々なものがあることを理解する。 ・天気はおよそ西から東へ変化していくという規則性があることを理解したり、映像などの気象情報を用いて予想ができたりする。台風の進路についてはこの規則性が当てはまらないことや、台風がもた

		<p>らす降雨は短時間に多量になることにも触れる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長雨や集中豪雨がもたらす川の増水による自然災害に触れる。</li> <li>・火山の噴火や地震がもたらす自然災害に触れる。</li> </ul>
保健体育科	保健	<ul style="list-style-type: none"> <li>・けがや疾病の予防、心身の機能の発達に関すること、ストレスへの対処、交通事故や自然災害などへの備えと対応について、個人生活を中心として理解できるようにするとともに、それらの内容に関わる基本的な技能を身に付ける。</li> <li>・毎日適切な時間に食事をすること、年齢や運動量等に応じて栄養素のバランスや食事の量などに配慮すること、適切な休養及び睡眠をとる必要があることを理解できるようにする。</li> <li>・地震が発生した場合に家屋の倒壊や家具の落下、転倒など原因となって危険が生じること、また、地震に伴って発生する津波、土砂崩れ、地割れ、火災などの二次災害によっても自然災害が生じることなどを理解できるようにする。その際、地域の実情に応じて、気象災害や火山災害などについても触れる。</li> <li>・日頃から災害時の安全の確保に備えておくこと、緊急地震速報を含む災害情報を正確に把握すること、地震などが発生した時や発生した後、周囲の状況を的確に判断し、自他の安全を確保するために冷静かつ迅速に行動する必要があることを理解する。</li> <li>・災害発生時の周囲の状況を的確に判断できるよう災害情報の取得方法、緊急連絡方法、避難所への避難方法、周囲へ助けを求めることなどを保護者と共に確認する</li> </ul>
職業科	職業生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道具や機械等の種類や用途が分かり、作業内容に応じて、使用する道具や機械等を適切に選定し、安全・衛生に留意して使用する。</li> <li>・道具や機械の手入れや簡単な修理及び管理を行う。</li> </ul>

(参考：兵庫県教育委員会事務局教育企画課「防災教育カリキュラム作成の手引き」より)



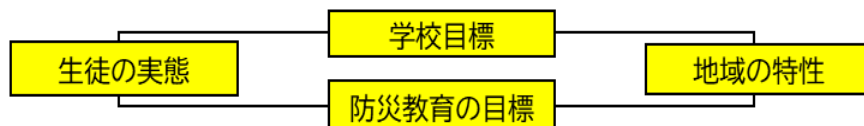
資料Ⅱ 防災教育推進計画作成例

(参考：兵庫県教育委員会事務局教育企画課「防災教育カリキュラム作成の手引き」より)



## 中学校防災教育推進全体計画（例）

<学校>



- ・災害発生のメカニズムの基礎や様々な地域の災害事例、日常の備えの大切さを理解できるようにする。
- ・災害から生命を守るために必要な能力や資質の向上を図り、自他の安全のために主体的に行動できる力を育成する。
- ・生命を尊重する心を育成するとともに、他者に対する思いやりや助け合いの心、ボランティア精神等を養う。

### 推進の視点

防災体制の整備充実	北海道教育推進計画の内容	指導力・実践力の向上
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員のみでの訓練等による役割の明確化と連携の強化</li> <li>・家庭や地域及び関係機関との連携</li> <li>・学校の実情と様々な自然災害に対応する災害対応マニュアルの整備</li> <li>・日常の安全管理と避難経路等の点検</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら危険を予測して回避するための知識や行動を身に付ける危機管理能力、規範意識、社会貢献できる態度の育成</li> <li>・家庭や地域とともに学ぶ体験的な防災教育の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の危機管理能力、防災リテラシーや応急処置能力の向上</li> <li>・防災体制（教職員の訓練実施を含む）、防災教育、心のケア等に関する校内研修の充実</li> <li>・防災教育のカリキュラム・指導方法・指導内容の研究・見直し</li> </ul>

### 各学年の目標

1年	2年	3年
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然災害について知るとともに、地域の特性をとらえることによって、災害への備えの大切さを理解できるようにする。</li> <li>・家族や社会の一員として共に力を合わせて集団生活の向上に努めようとする態度を育てる。</li> <li>・人間としてかけがえのない生命を与えられていることに喜びと感謝の気持ちを持ち、人間としてどう生きていくかを考えられるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の災害特性に気づかせるとともに先人の災害への備え等について調べ、地域における防災体制整備の大切さを理解できるようにする。</li> <li>・被災者の心情や災害や事故等がもたらす悲しみや苦しみにふれることで、生命の重さや尊さについて考えられるようにする。</li> <li>・ボランティア精神及び勤労の喜びを理解し、ボランティア等の活動に積極的に参加しようとする態度を養う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害発生のメカニズムを理解し、安全で快適なまちづくりのための環境整備の大切さを理解できるようにする。</li> <li>・国や地域の防災体制の仕組みや防災対策等についての理解を図る。</li> <li>・やさしさや思いやりの心を持って生きることの大切さを理解させるとともに、進んで公共の福祉のために尽くそうとする態度を養う。</li> <li>・災害時において学校が果たす役割について理解し、学校と地域の人々とのつながりについて考えられるようにする。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時に周囲の状況を的確に判断し、周囲の人にも配慮して安全な避難行動がとれるようにする。</li> <li>・応急手当の意義を理解し、心肺蘇生等の応急手当ができるようにする。</li> </ul>		

各教科・学国語活動	特別の教科道徳	特別活動	総合的な学習の時間
<ul style="list-style-type: none"> <li>・科学的思考力・判断力</li> <li>・災害発生のメカニズム、地域の災害特性、地域での支え合い、防災体制等の知識</li> <li>・国や地域の防災体制の仕組みや防災対策等についての知識</li> <li>・様々な場面に応じた危険の予測や回避、避難の仕方や災害への備え</li> <li>・心肺蘇生等の応急手当</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生命の尊重、差別意識の解消、多文化共生等人権尊重の精神</li> <li>・ボランティア精神及びやさしさや思いやりの心</li> <li>・互いに励まし合い高め合い、協力できる仲間づくり、集団生活の充実</li> <li>・人としてよりよく生きること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常的な備え、災害時の安全確保、的確な判断や実践的な行動</li> <li>・互いに協力し合い、自ら困難を克服する力</li> <li>・災害発生時の避難所の役割や自主組織の活動の必要性</li> <li>・自主性やボランティア精神を育成する活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア精神及び実践的態度を育成する活動</li> <li>・地域の災害の歴史や防災体制について問いを見だし情報収集し、安全で安心なまちづくりについて主体的・共同的に取り組む探究的な学習</li> </ul>

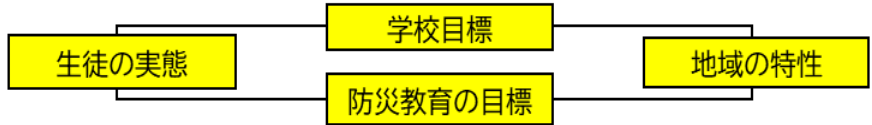
- ・防災意識の高揚（家族防災会議 ※ハザードマップ、連絡方法、避難所および避難経路の確認、マイ避難カードの作成等）
- ・災害への備え（事前：家具等の転倒防止、非常持ち出し袋の準備と定期的な見直し等）（直前：最新の気象情報・避難情報の収集等）
- ・ボランティア精神の育成 <家庭>

- ・ボランティア活動等、様々な体験活動や場の充実
- ・地域と連携した防災訓練等を通じた防災リテラシーの育成
- ・市町防災部局や自主防災組織、消防署、消防団等の関係者を交えた防災教育推進連絡会議の開催 <地域社会>



## 高等学校防災教育推進全体計画（例）

<学校>



・安全で安心な社会づくりの意義や様々な自然災害の特徴、災害の歴史等を理解するとともに、自然災害から自他の生命を守るために必要な知識や技能を高める。  
 ・災害による危険を回避するために必要な情報を収集し、自他の安全状況を適切に評価するとともに、適切に意思決定したり、主体的に行動したりする力を養う。  
 ・地域社会の一員として、地域の安全活動への積極的な参加する等、安全で安心な社会づくりに貢献しようとする態度を育てる。  
 ・人間としての在り方生き方を考え、生命を尊重する心を育成するとともに、他者に対する思いやりや助け合いの心、ボランティア精神等を養う。

推進の視点		
防災体制の整備充実	北海道教育推進計画の内容	指導力・実践力の向上
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員のみでの訓練等による役割の明確化と連携の強化</li> <li>・家庭や地域及び関係機関との連携</li> <li>・学校の実情と様々な自然災害に対応する災害対応マニュアルの整備</li> <li>・日常の安全管理と避難経路等の点検</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら危険を予測して回避するための知識や行動を身に付ける危機管理能力、規範意識、社会貢献できる態度の育成</li> <li>・家庭や地域とともに学ぶ体験的な防災教育の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の危機管理能力、防災リテラシーや応急処置能力の向上</li> <li>・防災体制（教職員の訓練実施を含む）、防災教育、心のケア等に関する校内研修の充実</li> <li>・防災教育のカリキュラム・指導方法・指導内容の研究・見直し</li> </ul>

各学年の目標		
1年	2年	3年
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然災害について知るとともに、地域の特性をとらえることによって、災害への備えの大切さを理解できるようにする。</li> <li>・家族や社会の一員として共に力を合わせて集団生活の向上に努めようとする態度を育てる。</li> <li>・人間としてかけがえのない生命を与えられていることに喜びと感謝の気持ちを持ち、人間としてどう生きていくかを考えられるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の災害特性に気づかせるとともに先人の災害への備え等について調べ、地域における防災体制整備の大切さを理解できるようにする。</li> <li>・被災者の心情や災害や事故等がもたらす悲しみや苦しみにふれることで、生命の重さや尊さについて考えられるようにする。</li> <li>・ボランティア精神及び勤労の喜びを理解し、ボランティア等の活動に積極的に参加しようとする態度を養う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害発生のメカニズムを理解し、安全で快適なまちづくりのための環境整備の大切さを理解できるようにする。</li> <li>・国や地域の防災体制の仕組みや防災対策等についての理解を図る。</li> <li>・やさしさや思いやりの心を持って生きることの大切さを理解させるとともに、進んで公共の福祉のために尽くそうとする態度を養う。</li> <li>・災害時において学校が果たす役割について理解し、学校と地域の人々とのつながりについて考えられるようにする。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・国や地域の防災体制の仕組みや防災対策、防災に関する国際貢献等についての理解を図る。</li> <li>・心肺蘇生等の応急手当の技能を高め、状況を適切に判断し速やかに行える力を養う。</li> <li>・生命に対する畏敬の念や共生の心を育み、被災地支援等のボランティア活動に積極的に参加する等、社会の一員として主体的に行動できるようにする。</li> </ul>		

連携

**各教科・学国語活動**

- ・科学的思考力・判断力
- ・災害発生のメカニズム、地域の災害特性、地域での支え合い、防災体制等の知識
- ・国や地域の防災体制の仕組みや防災対策等についての知識
- ・様々な場面に応じた危険の予測や回避、避難の仕方や災害への備え
- ・心肺蘇生等の応急手当

**特別活動**

- ・日常的な備え、災害時の安全確保、的確な判断や実践的な行動
- ・互いに協力し合い、自ら困難を克服する力
- ・災害発生時の避難所の役割や自主組織の活動に参加する意義
- ・自主性やボランティア精神及びやさしさや思いやりの心を育成する活動
- ・生命の尊重、差別意識の解消、多文化共生等人権尊重の精神
- ・やさしさや思いやりの心
- ・互いに励まし合い高め合う仲間づくり
- ・集団生活における自分の役割や責任の自覚
- ・人としてよりよく生きること

**総合的な探求の時間**

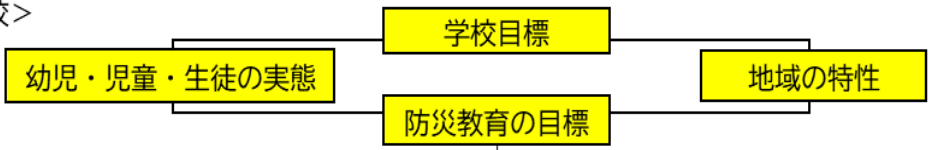
- ・ボランティア精神及び実践的態度を育成する活動
- ・地域の災害の歴史や防災体制について問いを見だし情報収集し、安全で安心なまちづくりについて主体的・共同的に取り組む探究的な学習

・防災意識の高揚（家族防災会議 ※ハザードマップ、連絡方法、避難所および避難経路の確認、マイ避難カードの作成等）  
 ・災害への備え（事前：家具等の転倒防止、非常持ち出し袋の準備と定期的な見直し等）（直前：最新の気象情報・避難情報の収集等）  
 ・ボランティア精神の育成 <家庭>

・ボランティア活動等、様々な体験活動や場の充実  
 ・地域と連携した防災訓練等を通じた防災リテラシーの育成  
 ・市町防災部局や自主防災組織、消防署、消防団等の関係者を交えた防災教育推進連絡会議の開催 <地域社会>

## 特別支援学校防災教育推進全体計画（例）

<学校>



- ・災害による危険や安全に行動することの大切さについての理解を図る。
- ・災害から生命を守るために必要な能力や資質の向上を図り、進んで安全な行動ができる力を育成する。
- ・周りの人の安全にも配慮できるようにし、他者に対する思いやりや助け合いの心を根付かせる。

### 推 進 の 視 点

防災体制の整備充実	北海道教育推進計画の内容	指導力・実践力の向上
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員のみでの訓練等による役割の明確化と連携の強化</li> <li>・家庭や地域及び関係機関との連携</li> <li>・学校の実情と様々な自然災害に対応する災害対応マニュアルの整備</li> <li>・日常の安全管理と避難経路等の点検</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら危険を予測して回避するための知識や行動を身に付ける危機管理能力、規範意識、社会貢献できる態度の育成</li> <li>・家庭や地域とともに学ぶ体験的な防災教育の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の危機管理能力、防災リテラシーや応急処置能力の向上</li> <li>・防災体制（教職員の訓練実施を含む）、防災教育、心のケア等に関する校内研修の充実</li> <li>・防災教育のカリキュラム・指導方法・指導内容の研究・見直し</li> </ul>

### 各 学 部 の 目 標

幼稚部	小学部	中学部	高等部
<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時に教職員や保護者の指示に従い行動できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生命の尊さを感じ、災害から自らの命を守ることを大切さを理解できるようにする。</li> <li>・災害時に起こる様々な危険について知り、大人の指示のもと、自らの命を守るための行動をとれるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過去や他地域の災害から、災害の危険や落ち着いて安全に行動することの大切さを理解できるようにする。</li> <li>・災害から命を守るため、日常の備えや避難行動ができるようにする。</li> <li>・支え合いで生活が成り立っていることに感謝し、自分にできることを進んで行おうとする態度を養う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害や防災に関する理解を深め、害時に適切な意思決定や行動選択ができるようにする。</li> <li>・応急手当の意義を理解し、心肺蘇生等の応急手当ができるようにする。</li> <li>・やさしさや思いやりの心を持って生きることの大切さを理解できるようにする。</li> <li>・自分の役割を自覚し、協力して責任を果たそうとする態度を養う。</li> </ul>

<p style="text-align: center; background-color: yellow;">幼稚部 各領域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の行動の仕方</li> <li>・友達への思いやりの心</li> <li>・自分の生活に関係の深い地域の人々への親しみ</li> <li>・自然等の身近な事象への関心</li> </ul>	<p style="text-align: center; background-color: yellow;">各教科・外国語活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然と災害に関する基礎的な知識</li> <li>・地域の人々や自然との関わり</li> <li>・自然災害から安全を守る地域での支え合い</li> <li>・危険の予測や回避の方法</li> <li>・心肺蘇生等の応急手当</li> </ul>	<p style="text-align: center; background-color: yellow;">特別の教科 道徳</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・思いやりの心をもち、相手の立場に立って親切にすること</li> <li>・信頼し助け合う仲間づくり</li> <li>・命を大切にす心、外国の人々や文化に親しむ心、人権の尊重</li> </ul>
<p style="text-align: center; background-color: yellow;">特別活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害から身を守る安全な行動や規律ある集団行動</li> <li>・災害発生時の避難所の役割や生活</li> <li>・ボランティア活動や地域における体験活動等</li> </ul>	<p style="text-align: center; background-color: yellow;">総合的な学習・探求の時間</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア活動や地域における社会体験</li> <li>・過去の災害に対する地域の取組やこれから起こりうる災害への対策について考える学習</li> </ul>	<p style="text-align: center; background-color: yellow;">自立活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害特性の理解と日常生活に必要な基本動作</li> <li>・災害等の不測の事態への対応</li> <li>・状況に応じたコミュニケーションと他者との関わり</li> </ul>

- ・防災意識の高揚（家族防災会議 ※ハザードマップ、連絡方法、避難所および避難経路の確認、マイ避難カードの作成等）
- ・災害への備え（事前：家具等の転倒防止、非常持ち出し袋の準備と定期的な見直し等）（直前：最新の気象情報・避難情報等の収集等）
- ・助け合いの心の育成 <家庭>

- ・ボランティア活動等、様々な体験活動や場の充実
- ・地域と連携した防災訓練等を通じた防災リテラシーの育成
- ・市町防災部局や自主防災組織、消防署、消防団等の関係者を交えた防災教育推進連絡会議の開催 <地域社会>

連携



## 参 考 文 献

### 【文部科学省】

- ・「生きる力」をはぐくむ学校での安全教育
- ・「生きる力」を育む防災教育の展開

### 【兵庫県教育委員会事務局教育企画課】

- ・防災教育カリキュラム作成の手引き